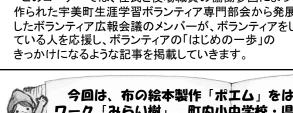
このコーナーでは、住民と役場職員の協働参画によって 作られた宇美町生涯学習ボランティア専門部会から発展 したボランティア広報会議のメンバーが、ボランティアをし ている人を応援し、ボランティアの「はじめの一歩」の



今回は、布の絵本製作「ポエム」をはじめ、宇美ネット ワーク「みらい樹」、町内小中学校・県立図書館での読み聞 かせの他、福祉工房「わかくす」でハンドベルを教えるなど 多彩な活動を行っている熊谷京子さんを紹介します。



## ボランティアをはじめたきっかけ・・

読み聞かせの活動のきっかけは、10年程前に井野小のお話し会に誘われたこ と。深く感動を受け、自分もやってみようと読み聞かせに参加したら、やみつきに なってしまいました。そのことが縁で、布の絵本製作や「みらい樹」の仲間と出会 い、サークル活動に広がりました。同じ頃、子ども会を通じて出会った「わかくす」 で、音楽で何か力になることが出来ないかと思い、飛び込みでお願いしてハンド ベルを始めました。どれも元をたどれば・・本好き・音楽好きという単純な気持ち が始まりでした。

※宇美ネットワーク「みらい樹」・・・平成10年し~ず・うみ主催事業「宇美町と女性」の 参加者が「自分たちが考えていることを社会へ発信しよう」と結成。様々な講演会や「町

長と語ろう」を主催したり、し~ず・うみと共催している。また、図書館応援 団「うみらいぶらりい倶楽部」にもメンバーが参加しており、地域に根ざし た図書館づくりを目指すなど幅広く活動を進めている。

## ボランティアを続けてこられたのは・・



喜んでくれる人がいて、自分もまた元気 をもらえるから。それに同じ志をもつ仲間と の信頼関係が深まり、とても

居心地のよい時間、空間を

持てるからです。

素敵で暮らしやすい宇美町に!

宇美町には、たくさんのボランティアの方がいらっしゃいます。そんなみなさん が活動しやすいように行政の方にも力を貸していただいて、暮らしやすい町にな るといいですね。「子ども読書の街」になるためには、図書館を中心に学校・保育 園・幼稚園・家庭・地域が力を合わせることが大切だと思います。





布の絵本製作「ポエム」さんが町立図書館開館時に贈呈された とっても素敵な布のカレンダーが貸出カウンター横に飾ってあります。 図書館来館の際にはぜひ一度ご覧ください。